教育課程特例校による特別の教育課程の編成の方針等について（英語活動の実施）

１　岡崎市における教育課程特例校指定の沿革

岡崎市では、英語で自分の思いや考えを伝え合うことができる「英語が話せるおかざきっ子」の育成を目指し、平成２２年度より教育課程特例校の指定を受け、小学校第１学年から第６学年で「英語活動」を実施してきました。

平成３１年度以降、学習指導要領の先行実施に伴い、第５、第６学年で外国語科の授業時間数が週２時間に増えたことを受け、教育課程特例校による特別の教育課程の編成を小学校第１学年から第４学年までに変更しました。

また、今年度からは次期学習指導要領への対応を見据え、総合的な学習の時間をより柔軟に活用できるよう、小学校第３・第４学年の外国語活動の授業時数を変更しています。令和９年度の完全実施に向けて、各学校において教育課程の工夫・改善を図りながら、より効果的な外国語教育の実践に取り組んでいます。

２　岡崎市における小学校第１学年から第４学年での取組

現在岡崎市では、小学校第１学年から第４学年において「英語活動」の授業を行っています。

第１学年と第２学年では、「生活科」の時間を３５（第１学年は３４）時間を「英語活動」に充てています。小学校第３学年と第４学年では、「総合的な学習の時間」の２０時間を「外国語活動」に充てています。外国語活動５５時間のうちの３５時間を、OK English を視聴する時間に充てています。

【資料１】岡崎市の教育課程（基本案）

区分	各教科										特別の教科道徳	特別活動	総合的な学習の時間	外国語活動＋英語活動	総授業時間
学年	国語	社会	算数	理科	生活	音楽	図画工作	家庭	体育	外国語					
第1学年	306		136		68	68	68		102		34	34		0+34	850
第2学年	315		175		70	70	70		105		35	35		0+35	910
第3学年	245	70	175	90		60	60		105		35	35	50	55+0	980
第4学年	245	90	175	105		60	60		105		35	35	50	55+0	1015
第5学年	175	100	175	105		50	50	60	90	70	35	35	70		1015
第6学年	175	105	175	105		50	50	55	90	70	35	35	70		1015

各学年における「英語活動」では、毎日１０分の帯時間に岡崎市小学英語研究委員会の自作動画教材『OK English(約８分の動画教材)』を視聴することで、週１コマの授業時間としています。動画の内容は、英語の歌、フォニックス、リズムに合わせてネイティブスピーカーの後に単語や文を発音する活動、実際に動作をしながら学級の中で他の児童と会話をする活動など多岐にわたります。各学年の発達段階を考慮しながら、学級担任とともに動画を繰り返し視聴することで、英語の音や基本的な表現に慣れ親しんでいます。

【資料２】OK English

３　本校の取組

本校では、毎日８時２０分から８時３０分を「英語活動」の時間としています。児童は、時間になると全児童がテレビ画面に向けて机を移動させて準備します。各学級の「英語活動」係の児童が、DVD 視聴の準備をし、８時２０分になると全教室から DVD のスタートを知らせる「OK-English!」の歌声が聞こえてきます。

「英語活動」において、担任は次の３点を意識し、DVD 視聴の時間に取り組むようにしています。

① 明るく元気のよい声と大きなジェスチャーをし、児童と一緒に楽しみながら DVD 視聴をします。

② 正しい発音を心がけたり、様々な活動に笑顔で参加したりするなど、児童の手本となるようにします。

③ 元気よく、表現豊かなスピーチや動作ができている児童を大いに称賛し、学習意欲を高めるようにします。

児童は、DVD に登場するネイティブスピーカーの指示に合わせ、身近にある様々な事柄の英単語を繰り返し発音したり、“Do you like～？”などの質問に答えたりしています。ときには、音楽に合わせてダンスをしたり、クイズに答えたり、各学年に応じた多彩な活動に楽しそうに取り組むことができています。特に、リズムに合わせて発音するチャンツの場面、フォニックスの場面になると、大きな声と動作でまねをしたり、アルファベットをそら書きをしたりする児童もいて、明るい雰囲気で１０分間の活動に取り組むことができています。

このように児童は英語に苦手意識をもつことなく、楽しみながら英語に慣れ親しむことができています。毎日１０分の英語活動を継続していることで、児童にとって英語がより身近なものになっています。